

科目	基礎作業学	担当	大浦 智子	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

作業活動の構造や特徴を科学的に捉える作業分析の方法、手段について学ぶ。作業療法における作業とはなにか、心身機能や活動にどのように影響するかについて学ぶことにより、作業療法の治療原理の基本を理解する。また、作業分析に必要な手段でもあり目的でもある作業について学び、さらに作業分析方法、統合化方法などを学ぶことによって、作業分析が実践できるようになることを目標とする。

【履修注意】

作業療法の基礎的理解の講義のため、作業療法を追求する探究心をもって取り組むこと。

【評価方法】

中間試験、期末試験、出席状況、授業態度、課題レポートなどで総合的に評価する。

【試験について】

中間試験、期末試験

再試験対象者の条件： 総合評価60点未満

【予習・復習】

項目内容が変わるごとに、各自復習をしてまとめておくこと。

【教科書】

書籍名： 基礎作業学 第3版 編集：濱口豊太 出版社：医学書院

【参考書】

「作業」って何だろう 第2版 作業科学入門 著者：吉川ひろみ 出版社：医歯薬出版株式会社

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	生活のなかの「作業」	作業の種類、作業の階層
2	「作業」の主観的意味	作業の種類と作業バランス
3	「作業」の文脈	空間的・時間的・社会的・文化的側面
4	作業と生活機能	国際生活機能分類・生活機能・背景因子
5	作業療法の成り立ち①	人と作業、作業の分類
6	作業療法の成り立ち②	作業療法の理論とその役割
7	作業療法士に必要なスキル	作業療法士に必要なコミュニケーションスキル
8	作業療法の体験	コミュニケーション演習、課題演習
9	中間まとめ	まとめと復習
10	作業と心理学	作業と関連する理論
11	作業の分析①	作業を分析する手続き
12	作業の分析②	作業の分析と作業療法への応用
13	作業の分析③	作業分析の実際
14	ライフステージと作業療法	発達期・青年期・高齢期と作業
15	作業と作業療法	作業と作業療法、まとめ
16	期末試験	15回の復習・確認・総まとめ